

# 麦の穂

第57号

2016年6月  
特定非営利活動法人

麦の会

TEL&FAX

022-299-1279

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町 17-1 郵便振替口座 02200-8-46178

E-mail : muginokai@k5.dion.ne.jp

http://www.muginokai-koppe.com

目次	総会報告	飯嶋 茂	・・・	1p
	とっておきの音楽祭	斎藤 七恵	・・・	8p
	新人さん自己紹介	日下由美	・・・	9p
	新聞記事より ①エフブンノイチ		・・・	10p
	②熊本地震		・・・	11p
	くまもと障害者労働センター支援のお願い		・・・	12p

## 総会報告

第17回麦の会総会は、5月22日(日)、みやぎNPOプラザにて行ない、事業報告、決算、事業計画、予算とも承認されました。

麦の会では寄付金の控除が認められる仮認定NPO法人の認証を昨年3月30日付で受けました。来年度には本認定の申請をすることになります。そのためには引き続き賛助会員の拡大が必要です。

以下、事業報告の抜粋を載せます。これからもご支援をよろしくお願いいたします。

## 2015年度事業報告

### 【1】仮認定NPO法人格の取得

より信頼性の高いNPO法人として認められることと、税の優遇措置がとられる認定NPO法人格の取得をめざし、仮認定NPO法人の申請をし2015年3月30日付で、認証がおりました。

仮認定の期間は3年間。2017年に本認定の申請を行う予定です。実績の判定期間は、2015年度、2016年度の2年間。本認定には、過去2年にわたり100

名以上の寄付者・賛助会員がいることが最低条件です。その他にも法令遵守等クリアすべき認定要件は多くあります。

今回の仮認定にあたっては、必要書類をきちんと保管し、なおかつすぐ出せるようにすることを痛感させられました。狭いコッペにとっては場所の確保が頭の痛い問題ですが、できるだけ整理したいと思います。

寄付者・賛助会費をいただいた方には、専用の領収証の発行が必要になります。そのコピーを取っておくことが、100名以上の寄付者・賛助会員がいることの根拠書類になります。また、事業報告も通常のNPO法人よりも種類・量が多くなります。

もちろん仮認定を受けたからと言って寄附金がそのままで増えるわけではありません。仮認定を受けたということでの社会的信用をPRし、寄附金を募る努力が必要です。2016年3月27日は、アエル2Fアトリウムで行われた認定NPO法人（仮認定を含む）PRイベントにも出席しました。

2015年度の会員の状況ですが、2016年3月31日現在、賛助会員は名簿上132人、実際に入金頂いた人は108人となっています。（正会員数は、24名です。）安定して100名を超えるには、入金して頂く人が、130名程度欲しいところです。知り合いに声を掛けて頂きたいと思ったり、未入金の方には麦の穂の発行時に会費の納入のお願いを毎回するようにしたいと思います。

## 【2】 あがいんセットのふるさと納税返礼品への採用

県内7事業所が連携して商品開発に取り組み、2012年度に誕生した「あがいん-again-セット」ですが、一昨年に創業スクエアから支援を受け、コンセプトを「宮城のテータイム」をあがいん♪とし、「宮城産」にこだわることで、手土産・ギフトとしての価値を上げ、パッケージもリニューアルしました。

その結果、東京の横河電機様の株主総会への手土産として引き続き採用されるなどしています。また、仙台市においても2016年度よりふるさと納税制度を行うことになり、寄付者に対する返礼品の一つにあがいんセットも採用されています。コッペのクッキーセットも同様に採用されています。ふるさとチョイスというサイトに載っていますので是非ご覧ください。

ただ、当然ながら仙台市といえば牛タン・笹かまぼこと名産品はあるわけで、それらの商品と同等に掲載されているので、実際に寄付された方が、あがいんセット並びにコッペのクッキーセットを選んでくれるかは難しいところです。

製造・支援に関する互いのノウハウ・販売の情報などを共有しながら、今後も協力しあいたいと思います。

## 【3】 就労継続支援B型の直接利用の問題について

支援学校の卒業予定者や就労経験のない人で就労継続支援B型の利用を希望する人は、就労移行支援事業所等での就労アセスメントを受ける必要があること

となりました。現在の障害者総合支援法では、就労継続支援B型の利用対象者は、一般就労がうまくいかなかった人となっていて、就労経験のない人は直接B型を利用できないとされています。今までは現状とかけ離れているので経過措置があり、そういう人も直接利用できていましたが、2015年の4月から経過措置がなくなり、法律の原則が適用されています。

法律が障害者の一般就労を後押ししたいという側面をもっており、就労継続支援B型の利用対象者を限定しているということは理解できますが、しかしながら、どの人にも一律のこの原則を適用することには疑問があります。

一つめは、当事者の自己決定・自己選択との関係です。

当事者の自己決定・自己選択を尊重することは、障害当事者の権利を守ることであり、支援を行う上でも一番大切な事です。B型を利用することを希望していることが明確な当事者にとって、一律に就労アセスメントを行うことは、当事者の意向を無視した制度の一方的な押し付けです。

二つ目は、就労アセスメントを行う対象者です。今回はB型を希望する方だけになっています。しかしながら、仙台市は、「ご本人の能力等に基づいて最適な「働く場」を模索し」「自らの能力に気付くことについては第三者的な視点も必要」と説明しています。それならば、障害者全員に可能性があるはずでありB型希望者のみならず、他の事業体系を希望する方にも、就労アセスメントを行うべきです。

三つめは、就労アセスメントの実効性の問題です。3日～2か月の就労アセスメントの期間とされていますが、その短い期間でそれまでその人と会ったことのない人が、どれだけのことができるのでしょうか。長くその人と付き合いしてきた支援学校の先生以上の判断ができるのでしょうか。

今回の就労継続支援B型の直接利用の件は、当事者の自己決定・自己選択との関係で大いに問題です。法律の精神は尊重しつつも、実態に即した制度の運用を求めたいと思います。

この問題に関しては、みやぎアピール大行動実行員会や宮城県障害者小規模施設連絡会仙台ブロックのメンバーとともに仙台市に対して申し入れ話し合いを行いました。

#### 【4】福祉のアンテナショップ構想について

以前、NPO法人桑の木がお店をやっていた青葉区中央の620駐車場となりにあるビルの1階を賃貸し、福祉事業所のアンテナショップを運営するため、NPO法人桑の木・みどり工房若林・アトリエソキウス・みやぎセルフ協働受注センターの皆さんと検討を重ねてきました。

コンセプトは、福祉のアンテナショップ～小物と焼菓子のお店～。お店の名前は、1/f（エフブンノイチ）と決定。まちむすび助成金とろうきん復興支援助成金を活用してお店の改装等を進め、2016年5月16日（月）にオープンすることになりました。

今後はホームページも活用し、エフブンノイチを拠点に商品の販売・情報発信を行います。

## 【5】就労継続支援B型「コッペ」の運営状況

### ① 開設状況

開設日数は、252日/年、利用者延べ数は、3,074人となっています。長期欠席の方もいたため延べ人数は減っています。コッペの定員としては、20名。在籍は16名です。それを支えるスタッフは、常勤4名、パート6名です。それにコッペショップを支えるメンバーの方々、区役所販売等を手伝っていただけるボランティアの方々等に、コッペの運営に協力して頂きました。土日のイベント販売時には障害メンバーも参加してもらえるとありがたいです。

### ② 売り上げ

パンとクッキーの売り上げは、約2,143万/年(仕入れ販売約263万を含む)、月平均178万となっています。2014年度の売り上げに比べ40万/年ダウンしました。相変わらず注文の多い月と少ない月の差も大きく、それに対して有効な対策が打てていないのが現状です。

今回改めてコッペのクッキーをどんなところで売っているのか皆さんにも確認してもらおうと思い整理してみます。その中で、あんなところこんなところへも売っていただけるのではということをご提案してもらえればと思います。

\*新商品 ビスコッティ NPO法人ポラリスとの共同商品

5本入り 200円

いちごクッキー 宮城産のいちごを使用 2016年5月正式発売

\*規格変更 レーズンジャンボ・くるみパン 通常の120円売りのパンと同じ値段で売れるように変更。レーズンは、ツイストの形のみとした。

### ③ 訓練等給付費収入

2015年度は2,518万円ほどとなりました。前年度より320万上がりました。目標工賃達成加算に加え、目標工賃達成加算指導員の加算を申請したことが大きな増加につながっています。

### ④ 工賃

障害メンバーの給料は、最高で77,000円最低20,000円、平均約52,000円となっています。昨年とほぼ同じです。B型の工賃としては県内で3番目ぐらいです。5月より新しくメンバーが1名加わりましたが、2月に1名の減となっています。

### ⑤ ミーティング

会議は夕方には中々持てないので、月・水にペーパーを作り、全員で行うようにしました。普段コッペに来られない方にもコッペの日常がよくわかるのではないかと思います。

### ⑥ コッペショップ

パンに関しては売上の中でもショップが重要な位置をしめています。春・秋のセールその他、バレンタイン・ホワイトデーセール等も行いました。

春・秋のセール 5/21 (木) 5/22 (金) 10/15 (木) ~ 16日 (金)  
バレンタインセール ホワイトデーセール

杜の都プレミアム商品券を、コッペでも使えるように平成商興会を通じて申請しました。20万ほどの売上がありました。

また、ショップカードを作り、ショップカードを見せた場合5%引き(お店のみ)(一割引き券の割引きは従来通り)とし、少しでもお得感をつけるようにしました。

ショップの売上は、329万/年。月平均27万となっています。

#### ⑤ ホームページ

ホームページそのもの更新はできていませんが、フェイスブックは活用しています。主にイベントの告知等で活用しています。麦の会ページへの「いいね」は150人となっています。

#### ⑥ 放射能検査

みんなの放射能測定室でとととに検査に出しました。検出限界は10ベクレルでいずれも不検出となっています。今後も定期的に検査に出し、安全性を確かめます。

原発に対しては、食品の安全という面でも反対の運動に協力していきます。

#### ⑦ 食品表示

法律が変わり、栄養成分表示の義務付け等、現在の表示から変更する必要があり、ラベルプリンターの更新を検討し、新しく導入しました。稼働はこれからになります。栄養成分表示は2016年度以降変更していく形になります。

#### ⑦ レクリエーション・研修

- ・5月9日(土) 田植え体験
- ・5月30日(土)・31日(日) 共同連東北ブロック交流会 山形県鶴岡市
- ・一泊旅行 7月10日(金)・11日(土) ハイルザーム栗駒
- ・いちえさん食事会招待 6月28日(日)・11月22日
- ・楽天招待 ゴールドマンサックス証券様より(宮城県社協を通じて)  
協賛企業様より(東北福祉大を通じて)

ご招待は「ありがたい」ことです。あたりまえのようにいくのではなく、きちんと感謝の気持ちをもって楽しんでください。

- ・新年会 1月8日(金) フクモト

#### 【6】雇用関係について

現在のコッペの収支では、全員と雇用関係を結ぶことは難しいため、就労継続支援B型のままで、出来る人から雇用を結ぼうという方向で今年も進めました。

条件を改めて確認します。以下の満たす人で、希望する人と雇用関係を結ん

でいます。

- ① 8年目以上
- ② 20時間以上の勤務時間
- ③ 最低賃金の減額申請はする
- ④ 社会保険はかけない
- ⑤ 中退金は6000円でかける

#### 【7】理事会

計10回行いました。しかし、今年度も最近参加する人が限られています。コッペでは、みんなで運営を考えていこうというスタンスで、理事会には都合がつく限りみんなに参加してもらっています。もちろん強制はできませんが、色々な人に支えられているということが、組織を維持していくための大きなモチベーションです。理事会に出席するというのもその一つです。出来るだけ多くの人の参加をお願いします。

#### 【8】会員（3/31現在）

正会員 24名 賛助会員 132名 計144名  
(正会員3名増、賛助会員8名増)

\*賛助会員で、実際に入金頂いた人は108人

安定して条件をクリアするためにはさらに会員の増加が必要です。会員皆さんの声掛けを改めてお願いします。

#### 【9】社会教育の推進

会報「麦の穂」の発行 計4回 それぞれ200部前後

2015年 5月 8月 11月 2016年 3月

賛助会員の確保のためにも会報は大切です。しっかり定期的に発行したいと思えます。

編集は持ち回りで担当して頂きたいと思えます。また、原稿は随時募集中です。自分が書かなくとも、書いてくれそうな人には是非原稿を依頼して下さい。今年度の会報はいつもよりは(?)充実した内容をおとどけできたのではないでしょうか。

#### 【10】NPO法人フルハウスとの連携

コッペの直接の運営母体は麦の会ですが、障害者総合支援法上は、NPO法人フルハウスが運営する形になっており、訓練等給付もフルハウスを通じて入ってくる仕組みとなっています。

給付費の請求事務は、もとなるデータはコッペで作成し、国保連への請求はソレイユから行っています。それに対して月1万円の事務手数料をソレイユに支払

いています。

当然のことながら、NPO法人フルハウスを構成するフリースペースソレイユとフルハウスグループの一員として、フルハウスの会議・春と秋のソレイユ祭りへの参加、互いの商品の販売等の協力をしています。

今年度は、ソレイユにおいて新たに「トレーラーハウス」を設置しカフェをする構想があり、それについての議論に参加しました。また、オープンにあたりカフェで使うコーヒーカップの寄贈する（アトリエソキウス製作依頼）こととしました。

ソレイユの運営状況も簡単ですが、報告します。

定員 40名

事業形態 就労移行支援（定員6名） 就労継続支援B型（定員28名） 生活介護（定員6名）

事業内容 お弁当の宅配（火曜日はカレー）

売上収入 19,520,939円

給付費収入 48,060,207円 総収入 68,907,815円

人件費支出 30,866,139円 総支出 71,374,853円

収支差額 △2,467,038円

平均工賃 約20,000円

運営内容自体は、以前からのソレイユの特色の地域密着型でアットホーム的な雰囲気を生かし、通ってくるメンバーも楽しそうに働いています。今年度はフルハウスも赤字決算でした。要因としては弁当の原材料費の高さや人件費が考えられます。ソレイユの良さを生かしながら、「経営」感覚ももっともって運営していくことが必要です。

### 【11】NPO法人共同連並びに東北ブロックについて

5月30日・31日に山形県鶴岡市にて、共同連マラソントーク&共同連東北ブロック交流会を行いました。なかなか活発な活動というわけにはいきませんが、せつかく立ち上げた東北ブロックですので、加盟事業所と連携を取っていきたいと思います。なお、共同連の全国大会は、9/12（土）9/13（日）札幌市にて開催されました。

～お礼～

三重県のお茶屋さん「みょうこうえん」さんより、今年も新茶をいただきました。震災後毎年いただいています。ありがとうございます。

とっておきの音楽祭 ♪ ♪ ♪ ♪

6月5日(日曜日)に、とっておきの音楽祭が  
ありました。コッペも出店したので、のぞきに

行ったら、沢山人がいてパンやクッキー  
など売ってました。



私は、せんだい組の出る時間ぐらいになつた  
ら、集合場所に行きました。知ってる人が沢山

いて、嬉しか、たです。熊本の友達、緒方愛  
ちゃんも見に来てくれたので、すごく、すごく  
嬉しくて、はげみになりました。愛ちゃんの

お母さんも、応援してくれました。うれしかっ  
たです。



私は、AKBの365日の紙飛行機  
を歌いました。リレハンサンセイ  
の曲でおどろもしました。

とてもじゅうじつした、一日でした

齋藤 七恵



# 自己紹介

くさゆみ  
日下由美と申します。  
この4月からゴッパで働か  
せていただいております。



\*昭和0年生  
\*O型・みずがめ座  
\*生まれは大阪育ちは山台

2ヶ月経ちましたが  
まだまだ戦力外でゴッパ  
してスタッフの皆さんに大変  
ご迷惑をおかけしております。  
温かい目で見守って下さい。  
がんばります!!

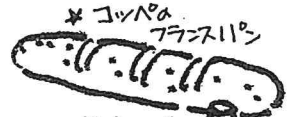
前職はみずぎせいの協働受注センターです。  
せいのでは企画・営業をしていました。  
ゴッパの仕事は日も早く覚えて、今までの経  
験も生かせる日が来るといいな...と思います。  
せいのにもゴッパにも良い形を目指しています。

ゴッパのメンバーさん(子どもたち)は皆さんとても  
働きますネ!! びっくりです。私にも仕事を教  
えてくれますが、それ以上に元気をくれる『何か』  
を持っています。何かって何だろー...  
それは多分コレ ⇒ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡

我以外  
師也

現在の私の座右の銘  
でござります。  
よろしくお願ひいたします。

## 私の好き好き



\*オリーブ



\*アガヒ  
(最近高くて買えない)



\*トマト



\*ゴッパの  
ネグロス



\*生ビール

\*温泉



\*木暮の季節



アニメ  
日映画

\*映画と  
ポラゴン



\*栗原の  
クック



\*睡眠

(もしかしたら  
一番好きかも)

ぐっぐっ



# 発信力も意欲もアップ

## 仙台・4授産施設の手作り品ショップ

5/13 5時~ 4時



知的障害者と精神障害者の  
運営委員会メンバーで  
初の試みという。

営まる取り組みは仙台では  
支援団体が共同で店舗を運  
営委員会が担う。障害者の  
PO送入団体が中心の運  
営支援に取り組み市内のN  
PO運営は、障害者の就  
業などを提供する。

「もあり、コピーや紅茶  
コーナーのカフェコーナ  
50種類の商品が並ぶ。カラ  
デザイン、焼き菓子などの  
店内に焼きたてのパン、ア  
ンター4席のカフェコーナ  
延べ床面積約16平方分の  
ゆいぽろから行われた。

す「1イ（エフ分のイ）  
心地よいと感じる現象を指  
る。就労訓練の場としても  
ハタルの光り方など人間が  
木（重慶区）の森田久美  
種所施設を運営する「森の  
期待できる。作り手だの

16日開業に好立地、販売増を期待  
と多くの人に商品の魅力を広げ、働く障害者の工賃アップを目指す。  
「フイチ」が、地下鉄仙台駅近くに16日オープンする。市中心部に当たる「エフ

仙台市の四つの授産施設の手作り品を展示販売する「エフ



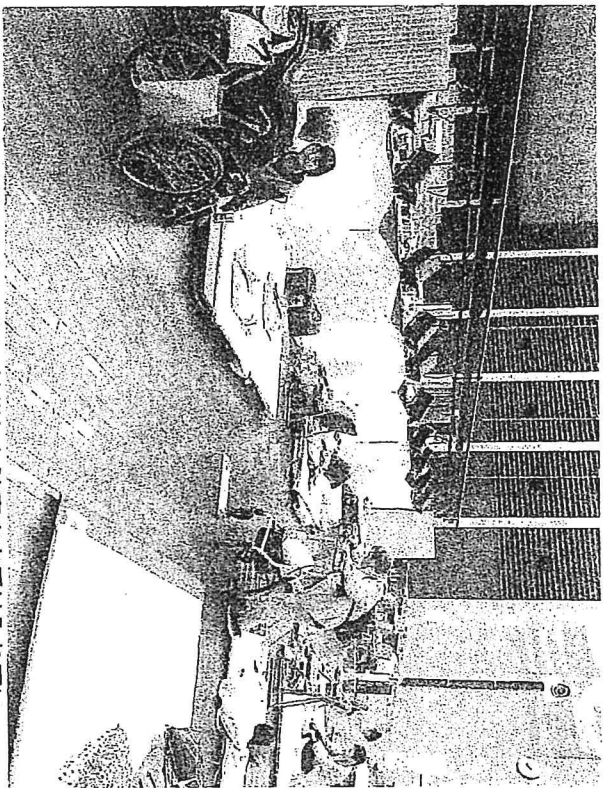
地かとても長く、販売量が  
の大竹理絵さん(34)は「立  
日は土日祝日。運営先は0  
キウスさんだ」「泉区）午  
運営委員会メンバー」割  
どの商品の種類を最大3  
店舗運営を手伝う。  
活用し、森の利用者がは  
る。就労訓練の場として  
「と語る。

16日開業に好立地、販売増を期待

と多くの人に商品の魅力を広げ、働く障害者の工賃アップを目指す。  
「フイチ」が、地下鉄仙台駅近くに16日オープンする。市中心部に当たる「エフ

開店へ向け商品を陳列する大竹さん（右）

# 障害者避難東北七カ教訓



4/30  
2/28  
一般の避難所として唯一、被災した障害者を受け入れている熊本学園大=28日、熊本市

熊本地震の被災地で、高齢者や障害者を受け入れる福祉避難所が十分に機能しない中、熊本市の一般の避難所で唯一、熊本学園大が障害者を受け入れる態勢を築き、震災発生から約2週間、約6000平方メートルに開設された。本震災発生16日に開設された。約60人が利用した。29日は約20人の障害者が身を寄せた。

通達は幅で以上あり、車いすも楽に通れるのが特徴。介護福祉士の資格を持つボランティアやヘルパーが24時間常駐し、トイレなどの介助に当たる。同大の学生が話し相手になったり、食事の介助を日、一般の避難所として大目、一般の避難所として大目、一般の避難所として大目に当たらなかったり、食事の介助を日、一般の避難所として大目に当たらなかったり、食事の介助を

## 熊本地震 熊本学園大、唯一受け入れ

### 被災地調査し実践「バリアフリーなら可能」

ただ避難者の様子に目を配る。右脚が不自由な無職川信昭さん(69)「熊本市は「バリア」や学生がいて夜も安心できる」と話す。障害者の受け入れは、同大社会学部花田昌教授(社会政策学)と障害者の人権を研究する東條教授が提案した。

2人は東日本大震災の1カ月後に岩手、宮城、福島3県の状況を調査。孤立した障害者が多かったことを教訓に今回、自主的に対応した。熊本市内の障害者の要支援者は約3万5000人。市は約1700人の受け入れを想定し民間の高齢者施設など17か施設と協定を結んでいたが、29日時点で開設された福祉避難所は54施設。想定を上回る被災規模で、受け入れは2500人にとどまる。

花田教授は「スペースの確保が最も重要。学校の教室がバリアフリーであれば開設できる。発生直後3日間を乗り切ればスタッフは集まる。一般の避難所でも障害者を受け入れる発想を持たないといけない」と話す。

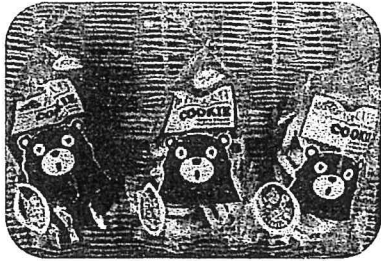
(報道部・氏家清志)

●ご注文お待ちしています。

熊本地震で被災した「くまもと障害者労働センターおれんじ村」のクッキーとかりんとうを販売しています。東日本大震災の時には、コッペも全国の人に買い支えて頂きました。おれんじ村の皆さんも地元での売り先が減っています。コッペでも販売支援をしています。

クッキーはくまもんのパッケージです。

かわいいですね。



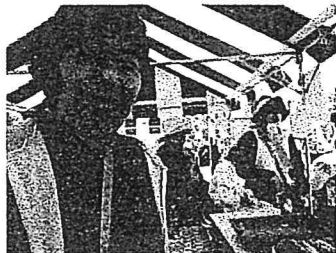
3種類あります!

- ★フレーン
- ★カフェオレ
- ★チョコナッツ



●色々な販売に参加しています。見かけたらお声かけください。

★みやぎこどもフェスティバル/ソレイユまつり



●あいコープみやぎさんの注文書の表紙に、コッペのクッキーをお勧めする阿部君の写真が載りました。

おかげでたくさんの注文を頂きました。

